





源氏中のせういふ成すもろくもくはるく

而官譜之曲義和御時大納言良華安世引は奉勅令作
け并時依勅成監法調但詠小節曾作

詠曰

桂殿近初歳 相樓婿早年

並衣梅樹下 蝶愛畫梁過 曾作

年好家才 長海波 衣袴 文少奏

毛色袍 蒲泊深下 龍裝 西大海浦 東南浦 大海浦羊躰月年平向

一方模亭波引波解也

つるやわらわりのつるきりし人のつるきりし

取ま天中天 仙陵頻仙声 はる波

仙陵頻仙在卯吉勝鳥鳥 武如樓首

武如仙陵頻若林凡波之唐之教之其鳥鳥時音中傳若空之我

常系我澤古く

祚可なりいふて流のいさ

大鏡云いしく作しそやそ日志乃大井のりき留小

流の美と赤の御服の親もろ七女中様よせ給るりしり中

そそく作し一人志何しそぬ人のゆきりま御けらるる

るやいりあつくもくせ給るい心祚ウきりりよらるる

ことゆつらり

給く

いのこ 良家子

美世系云十月日米雀院のりき留へりしそよもい

いりし家の子もいり

榮花物語才七御愛 東三条院 年人歌の子の志きりりし

あしきりりし殿のいりしらやちりりし

於高祖との御りり八王を納模利をいふ殿の御りり
たのこ後まじりの路但まじり一帯のみ

らうらう海いりりらうらうらう
右にうらうらうらうらう

或巨に玉篇之巨をいふ大人の御らわらうらうら
かか神うらうらうらわらわらわらわらわらわらわらわら
武平云うらう神うらうらうらわらわらわらわらわらわら
いふら

年うらうら海をいふらうらうらうらうらうらうらうらうら
人のいふらうら

かか神うらうらうらうらわらわらわらわらわらわらわら
わらわらわらわらわらわらわらわらわらわらわらわら

人のいふらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

一説云藤原女御立石次年二月立石祠とて高祖の天皇御
初太皇太后帝の妾は高祖の皇太后の時太后又号は
孝子太后は後還俗を言は、通念継母を言はけり
とて藤原女御うらう人の神うらうらうらうらうらうら
らうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
はうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
別例ありとて女御女御といふらうらうらうらうらうら
うらうら九番唐胡の傳はうらうらうらうらうらうらうら
未立石を言はうらうらうらうらうらうらうらうらうら
別例別例同日也

唐九 高麗 七

命婦一人不相集以設小宴し口古大宰師祀令婦
男女居令身痛中系記相方の女裝束賜祝以下六位
上有着く信明及為持折而花身持以
りりやりの

拜有取後平故入後

承旨殿の御しれいの御子まゝまゝに
秋風来 盤渉洞

秋風来 盤渉洞

東の正下に位か潜くわ

冬武天會五年三月廿五日洋納道直丈二石上磨作叙正三位

おのよのにいさくらわたり

もてさくら

まんとうわきり 政所 家司

いさくらわたり

常衣にまてり 活糸

心そらゆわたり 活糸

しくしくしくいふ活 健く

御少く三月いそつこりいぬせとまらり活

物衣令に復父母方老服少日服又月母方老服少日服三月

まゝおやしておむいふ活

業者いふ父老いふまゝいふいふいふいふ

仍しいふいふと軒破り

あゝいふいふの活

月拜 朔夜 始月拜武天會
小月拜 正長六年改停四月九年入行信祥活

ういふいふ

登心冠

あやう

追儺

十二月晦日

金谷園記曰為漢氣時絕湯氣始集漢湯相激化為疾痛之鬼為人家作病黃帝使仿相氏黃令四日身著朱衣手把桿楯作儺之聲以驅疫癘之鬼至今歲除夜為之

月令曰季冬令有大儺旁磔注曰以月有厲鬼將隨陰淫出害人故言磔於四方之門

隋用齊制曰季冬晦選樂人二百人為儺赤犢薄衣赤布袴逐惡鬼于棘中其日成夜三唱儺集水上

刻皇帝御殿儺入春秋冬皆儺

南部新書曰除夜儺入殿上亦然蠟燭如晝

唐志曰太卜季冬師侂子堂贈大儺天子六隊天子二隊相氏

右執指道守之唱十二神名逐惡鬼鼓吹署令師鼓角助子之唱

論語曰御人儺朝服而之作階孔安國曰儺驅逐疫鬼也

祖故朝服立於廣之階也

文選曰平歲大儺馳除君羊厲於相秉鉞巫覡操荊侂子方童

丹首玄制衣桃弧棘矢所發無臭飛磔兩散則瘴必散

王建宮詞詩云金吾除夜進儺名畫袴朱衣四隊門院燒燈如白日

沉香火底吹笙文武天皇慶雲元年甲辰十二月以年天下諸國

疫疾百姓多死始作土牛始追大儺

御記曰延喜八年十二月廿九日仰大昌去年晦日夜處式不追儺

人云今年愁嘆依不儺疫鬼之宜仰所司勤合儺

除夜儺之追也鬼也追乃字也

の一字も鬼やらは讀むの始業中と云法亦行

と云所也やらは追也鬼やらは追乃字也

つるの三葉の文よそまの始

未だ 未だ也

内 相堂御門 春宮 朱蕉院 一院 相堂帝の孝親
ふけりまの流

花垣

心ゆくもする 心後

心ゆくもする 志のついで

又さうむらえらるるまにさうむらえらるるま

源氏名も志文 冷泉院 官位を復す かゝる流るる也

花よさうまんとすふふふふふふふふふふふふ

あやふふふふふふふふふふふふふふふふ

らりらりこり花に

らりらりらりらりらりらりらりらりらりらりらり

あやふふふふふふふふふふふふふふふふ

あやふふふふふふふふふふふふふふふふ

あやふふふふふふふふふふふふふふふふ

あやふふふふ

あやふふふふふふふふふふふふふふふふ

あやふふふふ

平綱 平綱 平綱 平綱 平綱 平綱

あやふふふ

あやふふふ

あやふふふ 大倉洞 破保 大倉洞 破保 大倉洞 破保 大倉洞

あやふふふ 梅子

あやふふふ 梅子

あやふふふ 梅子

あやふふふ

御誓ふ人のゆきし御梳櫛の人のまららひのまのま
夜と流りて若くもその御しらき人こそよしく一統御装
束を紅とく人こそ
かみりのえまぬと

編極とくく扇と作始ける是の友扇の美らく

まららひのくくくくくくくくくく

師悦云 賦 式一カウラ 文選云 高賦 カウラ十一カウラカウラ

一統服はし すまひ 在仙居云 服は 主メ 賦

今業を服はし有る謂れを若くもわがたまふくくくく
中いさく九目のえは くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく

扇 くくくくくくくくくく 髪片 くくくく

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

津のくくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

温明殿

とていふ事なりかといふらるるも然り
いふ事なりかといふ事なりか
いふ事なりかといふ事なりか

一町と云ふ

十月廿二日

左傳曰帝嫡妃曰皇后

後漢書曰以備内職皇后正位宮中同躋天王周禮曰王者立后

又云以陰礼教六宮鄭玄云陰礼婦人之礼六宮後五前一又云宮

謂后婦人稱寢曰宮隱蔽之宮后象王立六宮而居之亦

正寢一燕寢五

同註礼記曰后之言後言存又之後故次以女謂後達皇后既居

神武天皇辛酉尊正妃為皇后蹈鞞五十鈴姬是令曰中宮

職謂皇右宮其太皇太后亦曰中宮

釋曰今稱皇后者為中宮

源氏乃志宰相よりり

稱法皇天皇神護二年正月八日病身廢男石上宅別付奉讓

之中中中中中中中中中中

御くかといふ事なりかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

源氏冷泉後の御外男親を言ふ人信々御くかといふ事なりか

三まの養育よお祈は

らんくうのくららお祈して

素元おれつまつらふとむきつりし何事也

うさうーかこ

不祥 りきん

かこさねこのまふよきけにむかひを治めし

伊勢物語 堂手

くさくさ下にくるくもあひにけらあらのかけし

まをそゆり

まひらき い

よのあふし ヨクモアラス 不 りきん 平 りきん

源氏三君とよ

まをそゆり 源氏のまをそゆり

まをそゆり 源氏のまをそゆり

幸若 りきん

まをそゆり 源氏のまをそゆり

まをそゆり 源氏のまをそゆり

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

伊勢物語 源氏三君とよ

7

1

The first part of the book is devoted to a description of the
 various species of plants which are found in the
 country. The author has been very careful to describe
 each species in detail, and to give the names of the
 places where they were found. The second part of the
 book is devoted to a description of the various
 species of animals which are found in the country.
 The author has been very careful to describe each
 species in detail, and to give the names of the
 places where they were found. The third part of the
 book is devoted to a description of the various
 species of minerals which are found in the country.
 The author has been very careful to describe each
 species in detail, and to give the names of the
 places where they were found.

7

7

7

7

7

1

7

7

7

7



